

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

ミニカバの赤ちゃん、9月1日(金)より公開！
時間限定で愛らしい姿を覗き窓からご覧いただけます。



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2023年8月17日(木)に誕生したミニカバの赤ちゃん(性別不明)と、母親「フルフル」による微笑ましい子育ての様子を、9月1日(金)より開館から12時まで時間限定で覗き窓からご覧いただけます。

ニフレルでは、赤ちゃんの誕生以降、母親の「フルフル」が落ち着いて子育てできるように、「ミニカバ」展示エリアのガラスをシートで目隠しし、親子の様子をガラス前に設置した大型モニターのライブ映像でご覧いただいております。

生後2週間が経過し、子育ても安定してきたことから、シートに約20cmのひし形の覗き窓(3箇所)を開け親子の姿を直接ご覧いただけるようにいたします。なお、子育ての状況を見ながら、徐々に公開時間を長くするほか、覗き窓を増やし、10月上旬にはすべての目隠しを取りはずしてご覧いただく予定です。

現在、赤ちゃんはスクスク育っており、体のシワが取れて全体が丸みを帯び、赤ちゃんらしさがでてきています。すでに歯が生え始めており、「フルフル」を追いかけて歩き回ったり、「フルフル」の食べている干草などにも興味が出てきたほか、プールに入って自分で顔を水中につけるなど、愛らしい仕草を見せ始めています。



ミニカバエリアの目隠し

【本件に関する問い合わせ先】

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp



1. ミニカバ親子の公開について

《公開日》2023年9月1日(金)より

《公開時間》開館から12時まで(平日は10時開館、土・日・祝日は9時30分開館)

※子育ての状況に応じて公開時間を徐々に延長する予定です。

※上記以外の時間はモニターのライブ映像で親子の姿をご覧いただけます。

※ミニカバ親子の状況により変更または中止する場合があります。

2. ミニカバの赤ちゃんについて



《誕生日》2023年8月17日(木)午前2時3分に、2階「みずべにふれる」ゾーンのバックヤードで誕生。

《性別》不明

《大きさ》体長約60cm(目測)、体重11kg(8月26日測定)

《両親》母親:愛称「フルフル」(10歳。2012年12月17日にシンガポール動物園で誕生)

父親:愛称「モトモト」(10歳。2013年7月9日にチリのブイン動物園で誕生)

※「モトモト」は現在、種の保存を目的に恩賜上野動物園で暮らしています。

3. ミニカバについて

西アフリカの森林や沼に生息し、体長は約150~175cm、体重は約160~270kg。単独もしくは2~3頭のグループで生活し、草や木の葉、果実などを好んで食べます。絶滅の恐れのある動物で、IUCN(国際自然保護連合)によると、西アフリカの限られた地域に、わずか2,000~2,500頭のみが生息しています。ワシントン条約の付属書Ⅱに掲載され、世界的に保護されており、国内で飼育しているのは、今回誕生した赤ちゃんを含めて5園館13頭です。

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

【名称】 NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)

【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:村井 弘幸)

【所在地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】 平日 10:00~18:00

土・日・祝 9:30~19:00

※いずれも最終入館は閉館の1時間前

※状況により変更する場合があります。

【休館日】 年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】 展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる 合計8ゾーン)

ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)

ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

【交通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐車場】 約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)